

## 竹生に伝染病隔離病棟 (避病院) がありました。

今回は 避病院を照会します。(美穂郷土誌 6章保険・医療(2)②) 参照)

美穂地区内に伝染病を隔離する施設が在ったことを知る人は少ない。大和、美穂の先人達は早くから村民の衛生思想の啓発に努め衛生行政の一環として「避病院」を建築し、伝染病の蔓延防止を図った。(大正元年(1912年) 美穂村、大和村合議、大和美穂村組合伝染病隔離病舎(避病院)を建築)

この避病院は伝染病の発生した際にのみ隔離病舎として機能した。それ以外は無人の病舎。この施設がいつごろまで存在していたかは不明だが昭和15年ごろ赤痢で入院した人が現存していることを見ると、終戦前後まで建物は残っていたと思われる。

位置 美穂村大字竹生字佛生寺33番地(区画整理前)

建物五棟

内訳

病室	木造瓦葺平屋建	45坪
医務室兼事務室	同上	14坪5合
消毒室	同上	7坪5合
看護婦室		12坪
屍室		5坪



区画整理前の地図



竹生の竹森貞美さんに避病院跡地と思われる場所を案内して頂きました。(後ろは竹生集落)